

第2学年 保健体育科学習指導案

日 時 令和5年11月7日(火) 5校時
 学 級 2年A組 男子16名 女子15名
 計31名
 場 所 体育館
 授業者 教諭 小笠原 康喜

1. 単元名 E 球技 ゴール型 (バスケットボール)

2. 単元について

バスケットボールは、球技の中で「ゴール型」として位置づけられ、相対する2チームがドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定時間内に得点を競い合うスポーツである。

本単元では、ドリブルやシュートなどの個人のボール操作を習得するとともに、仲間と協力して空間に走り込むようなボールを持たないときの動きなど、「ゴール型」の基本技能の習得をねらいたい。また、攻撃の作戦を立てるおもしろさや成功したときの喜び、チームで協力し合うことの大切さを学ばせたい。

3. 生徒の実態

2年A組の生徒は、保健体育の学習に意欲的に取り組む生徒が多く、男女で協力し合う雰囲気もある。男子は16名中14名、女子は15名中12名が学校の部活動又は校外のスポーツクラブに所属し、日常的にスポーツに取り組んでおり、本校の他学年に比べ運動に親しんでいる割合は高い。また、小学校又は中学校でのバスケットボールの経験者は女子7名である。

下表は新体力テストの結果であるが、女子は県平均より低い傾向が見られ、運動習慣の形成を含めた体力向上の工夫が必要である。

(R5 新体力テスト結果)

		握力 (kg)	上体起 こし(回)	長座体 前屈(cm)	反復横 とび(点)	シャトル ラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅 とび(cm)	ソフトボー ル投げ(m)
男 子	県平均(R4)	30.52	26.68	46.13	51.90	80.13	8.06	201.64	21.66
	第2学年	31.07	25.62	40.93	47.55	80.17	8.50	204.56	24.06
女 子	県平均(R4)	21.78	22.36	47.52	46.66	53.89	8.97	169.52	13.47
	第2学年	24.04	23.79	43.57	43.57	51.29	9.21	157.64	11.79

単元の事前アンケートの結果は以下の通りであり、運動に対しては肯定的な回答が多いが、バスケットボールに対しては否定的な回答が増えている。これは、球技に対する苦手意識を持つ生徒が増えていることが要因として挙げられる。基本的技能の習得を重視しながらも、練習方法を工夫しながら楽しみや成功体験を多くしていきたい。

項 目	好き	どちらかというとき	どちらかというとき嫌い	嫌い
運動について	15人	10人	1人	2人
バスケットボールについて	8人	9人	9人	2人

4. 単元の目標

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
ア ゴール型では、ボール操作と空間に走り込む等の動きによってゴール前での攻防をすることができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、健康・安全に気を配ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

5. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 学校で行う球技は近代になってから開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>② 対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③ 得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>④ パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。</p>	<p>① 提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>② 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>① 球技に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>② 作戦などについての話合いに参加しようとしている。</p> <p>③ 仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>④ 健康・安全に留意している。</p>

7. 本時について (6 / 10)

(1) 目標

提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 本研究とのかかわり

自分の考えを表現し、主体的に学習する生徒の育成
～ICTを活用した協働的な学びを通して～

タブレットでプレイを撮影し、チーム内で確認し合うことを通して、自分の動きやチームメイトの良い動きを参考にするなど意見交換を活発に行うことが期待される。

【手立て1】「協働的な学び」の場面について

- ・ゲーム間にタブレットで撮影された映像を確認し合う場面を設ける。

【手立て2】「まとめ」と「振り返り」の場面について

- ・本時のまとめと振り返りを記入し、ロイロノートで提出する。生徒個々の学びを蓄積、共有することで次時への課題意識の向上を図る。

(3) 評価規準

項目	A	B	支援の手立て
思考 判断 表現	既習事項を踏まえたり根拠を添え、提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	視点として既習事項を示したり自己やチームの課題について再度確認したりする。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ●評価 ☆研究とのかかわり
導入 10分	○用具の準備 1 準備運動(セットメニュー) 2 集合・あいさつ・健康観察 3 本時の学習の見通しを持つ	○前時の振り返りを含む
展開 30分	得点しやすい空間にいる仲間を意識する	
	4 2対1のタスクゲーム ① 1回目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・グループ毎にタブレットで撮影 ・全てのグループが撮影終了後全体で考察 </div> ○「空きスペース」の利用を意識する ○考察後、練習時間を確保する ② 2回目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・1回目と同様に撮影終了後考察 ・課題が改善されていたかに注目する </div> ○「個々の動き」について意識する	○前時のルールで行う ☆手立て1 ○タブレットで撮影 ●課題に応じた練習方法の選択 【思考/判断/表現】
終末 10分	5 まとめ ○学習シートに沿って振り返る 6 活動の振り返り ○本時の学習について発表する 7 次時予告	☆手立て2 ●本時の活動を評価する(学習シート) ○振り返りの結果を全体で共有する(ロイロ)

6. 指導と評価の計画(10時間扱い)

時	1	2	3	4	5	6(本時)	7	8	9	10	
ねらい	学習計画を確認する	基本技能の習得/シュートゲームやパスゲームを楽しむ					ハーフコートゲームを楽しみながら正規のルールに近づける				試合を楽しむ
学習の流れ	0	準備・準備運動・集合・あいさつ・健康観察・本時の学習の見通し					準備・準備運動・集合・あいさつ・健康観察・本時の学習の見通し				
	50	○基本のボール操作:ドリブル、パス、シュート練習 ・個人練習 ・チーム練習【相互評価】					○基本のボール操作:ドリブル、パス、シュート練習 ・個人練習 ・チーム練習【相互評価】				
	オリエンテーション ○学習の進め方等を知る。 ○特性や成り立ち ○用具の準備 ○学習の見通し・ルール ○グループ編成 ※男女混合グループ(3~4人編成) ○ボール慣れ いろいろな動き ○本時の振り返り ○次時の確認	○ドリブル、パス練習		○シュート練習		○ハーフコートでのミニゲーム		※男女別のチームへ ○ハーフコートでのゲーム		○オールコートでのゲーム	
		○ドリブル練習 ⇒守備者がいない ○パス練習 ⇒守備者がいない ○ドリルゲーム ⇒守備者がいない 【チーム内評価】	○ドリブル練習 ⇒守備者をつける ○パス練習 ⇒守備者をつける ○ドリルゲーム ⇒守備者をつける 【チーム内評価】	○シュート練習 ⇒守備者がいない ○ドリルゲーム ⇒守備者がいない 【チーム内評価】	○シュート練習 ⇒守備者をつける ○ドリルゲーム ⇒守備者をつける 【チーム内評価】	○ミニゲーム・1 ・守備側の人数を減らして ・チーム内で2対1 【チーム内評価】	○ミニゲーム・2 ・守備側の人数を同数に ・他チームと3対2 【チーム内評価】	○ミニゲーム・3 ・守備側の人数を減らして ・チーム内で2対1 【チーム内評価】	○ミニゲーム・4 ・守備側の人数を同数に ・他チームと3対3 【チーム内評価】	○ゲーム ○ルールの確認 【チーム内評価】	
		整理運動・本時の振り返り・次時の連絡・あいさつ・後始末					整理運動・本時の振り返り・次時の連絡・あいさつ・後始末				
主な指導内容	知識技能	ア-①				ア-③		ア-④	ア-②		総括的な評価
	思考判断表現			イ-②		イ-①					
	主体的		ウ-④	ウ-①				ウ-②		ウ-③	
評価方法	知技	学習シート				観察		観察	観察		
	思判表				学習シート		学習シート			学習シート	
	主体的		観察	観察				学習シート			